

大雪山・山守隊からのお知らせ

6月に入り大雪山の残雪も少なくなり夏山シーズンが近づいてきました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

昨年は登山道整備イベントにご参加いただき、大変ありがとうございました。今シーズンも昨年同様いくつかの整備イベントを予定しております。現在、計画中也含め、日程がある程度決まってきたものからお知らせいたします。夏山を楽しむイベントの一つとして、ご参加いただくと幸いです。

- ・7月21日22日（土日）
- ・トムラウシ木道整備イベント
- ・場所：カムイ天上付近
- ・詳細は同封別紙にて

決定！！

- ・8月18日（土曜日）
- ・雲の平土壌流出防止など
- ・場所：黒岳（雲の平）
- ・昨年同様に崩れを防ぐ整備をします。植物の専門家も参加してくれるので、勉強会にもなるはず。
- ・座学や懇親会、宿泊場所は層雲峡ホテルを予定しています。

- ・9月1日（土曜日）
- ・登山道補修いろいろ
- ・場所：旭岳方面（裾合平）
- ・5年以上整備イベントが続く場所。以前の施工が、どう変化しているかも観察します。
- ・座学や懇親会、宿泊場所は東川で手配中。

- ・9月上旬
- ・登山道補修いろいろ
- ・場所：愛山溪三十三曲り付近
- ・テクニカルな石組みや木組みをやるかも。出来上がると嬉しくなるはず。
- ・愛山溪ヒュッテで座学や懇親会、宿泊もあります。

- ・6月～9月の平日
 - ・登山道の小規模な補修など
 - ・場所：愛山溪方面、裾合平方面など
 - ・土日が忙しい方にどうでしょう。
- 大規模な整備イベントではありませんが、山守隊スタッフと一緒に巡視をしながら整備をします。
- ・「来週のこの日にこんなことやります。どうでしょう～」と呼びかけます。
 - ・たまたま暇だぜ！という方はぜひ一緒にしましょう。
 - ・第一弾は6月下旬に裾合平にポールマーキングに行きますよ～。

山守隊への入会、ご支援のお願い

昨年、任意団体で始まった山守隊は今年3月28日「一般社団法人 大雪山・山守隊」として法人としての新たなスタートをしました。山の保全を考え、現場をしっかりと観察し、技術を高め、様々な方をつなげる行動をしていきたいと思っています。

運営に関しては山守隊で業務を受注し「自ら稼ぐ」のほかに、皆さまからの支援による規模拡大を考えております。しっかりした技術やアイデアを持った人を育て、山を治し、楽しいイベントを作っていくよう努力していきます。

入会、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

※イベント内容や入会についてなど、詳しい内容はお問い合わせください。

会員の方には、イベント時の宿泊無料や割引、会報誌の配布などささやかではありますが、特典があります！！

**大雪山
山守隊**

一般社団法人 大雪山・山守隊
078-1333 北海道上川郡当麻町伊香牛1区
TEL 0166-56-9160
メール yamamoritai@gmail.com

トムラウシ木道設置イベント 2018.7月21.22日(土日)

たまには山へ恩返しinトムラウシ

トムラウシ山頂へ向かう時、カムイ天上と呼ばれる場所があります。

樹林帯を抜け、解放感が広がる場所ですが、登山道(新道)はぬかるみが凄まじく、登山者は泥道を避けるために脇の土壌を崩しながら歩き、崩れた土壌がさらにぬかるみを作っています。土壌は大雨で流され、岩盤が露出し始めた場所もあります。植物は土壌がなくては生きられません。この新道が出来てからまだ十数年程度。約10年でここまで崩れてしまったのは私たち登山者です。これ以上の崩れを防ぎ、植物が育つための土壌を守るため、木を荷上げし、木道を作り、設置します。

主催：大雪山・山守隊、北海道地方環境事務所
協力：新得山岳会、新得町・トムラウシ温泉東大雪荘

作業参加者
温泉入浴無料!!

7月21日(土曜日)

8:00 トムラウシ短縮登山口集合
9:00 登山口出発
11:00 カムイ天上現場着作業開始
14:00 下山開始
18:00 トムラウシバンガローBBQ
~翌日 宿泊可能

7月22日(日曜日)

8:00 トムラウシ短縮登山口集合
9:00 登山口出発
11:00 カムイ天上現場着作業開始
14:00 下山開始
16:00 解散

<内容>

- ・木材の荷上げ、木道の組立て、木道の設置
- ・両日参加、またはどちらか短日だけの参加でも歓迎します。
- ・当日の天候次第で延期、作業内容の変更もあります。
- ・参加費：無料(ボランティア保険はこちらで加入します)
- ・7月21日は作業後「やまの交流館とむら」で懇親会(BBQ)を開催します。
- ・そのままバンガローへの宿泊可能です。懇親会から、または懇親会だけの参加もOK。
- ・バンガロー宿泊の場合(寝袋等必要)お一人様1000円を頂きます。

定員(各日30名程度)

申し込み締め切り 7月9日までにご連絡ください

※山守隊会員はバンガロー宿泊費は無料になります。

<お問い合わせ>

- ・環境省上士幌自然保護官事務所
01564-2-3337
- ・一般社団法人大雪山・山守隊
0166-56-9160
yamamoritai@gmail.com

・メールでのお申し込みはお名前、ご住所、生年月日(保険加入のため)、参加できる日にち、連絡先(天候により前日にご連絡する場合があります、携帯番号もお願いします)を明記してください。

トムラウシ木道設置イベント

イベント作業内容（21日、22日とも同じ工程です）



其の1 <荷上げ>

- ・木材の荷上げをします。
- ・1本60cm（1～2kg）と120cm（3～4kg）の角材を、その人が余裕をもって背負える分だけ。
- ・金づちや釘なども荷上げします。
- ・大量に背負える人には背負子を用意します
- ・過去には15本50kgを背負っていた人もいますよ～。もちろん60cmの角材1本や、荷上げ無し作業のみでもOKです。
- ・限界に挑戦しようぜ！



木
得
町



其の2 <組立て>

- ・木道を組み立てます。
- ・4寸釘を金づちで打ち込んで固定。
- ・慣れるまでは何度も釘を曲げます。
- ・真っすぐ目指して頑張りましょう。
- ・腕力なくてもコツをわかればできる！！

<必要なもの>

- ・泥だらけになっても良い服装
- ・手袋（背抜きゴム手など）、カッパ
- ・慣れている方は長靴
- ・持っている方は大型ザックや背負子
- ・虫よけ（気温によりブヨがいます）
- ・昼食
- ・山を愛する気持ち

登山口～現場
距離：約3.5km
木材を背負って歩きます

トムラウシ温泉

短縮登山口への分岐

短縮登山口

其の3 <設置>

- ・木道を登山道に設置します。
- ・ただ置くのではなく、路面の凸凹を削りガタつきがないようにします。
- ・枕木を埋め込むように設置すれば完成。
- ・使いやすい位置に木道を設置するのがポイントです。
- ・ガタつきなくキメると嬉しいッス。



登山道情報の収集、蓄積、公開について

2018年 環境省、北海道大学、大雪山・山守隊による発案で行なう管理方法の提唱

動画によるデータベースの作成 及び 静止画による情報収集と公開

登山道に関わる生態系を保全するためには、登山道が崩れる前の生態系の記録が不可欠である。現状では崩れが起き、歩行に支障が出てから記録されることがほとんどで、「何が原因」で「いつから」崩れ始めたのか、「以前の環境」はどうなっていたのかを知ることができない。登山道全域の記録は、歩行路の確保だけでなく、生態系保護を含めた今後の維持管理の根幹になる。

<白雲岳山頂直下における侵食の経年変化>

10年間で、踏圧・流水・凍結融解現象などによりガリー侵食が進み、歩きにくくなった場所を避けるため植物帯に踏圧による新たな裸地化した道が出来ている。

2006年撮影



2016年撮影



<中岳温泉～中岳分岐への登山道>

国立公園としての管理が始まった当初、この場所は両足に植物が触れるほど狭い範囲が登山道だったという。現在は3m～5mほどの道幅になり、法面では土壌侵食により植物の後退が続いている。元の自然環境の記録もなく、変化も知ることが出来ない状況は管理されているとは言えない。

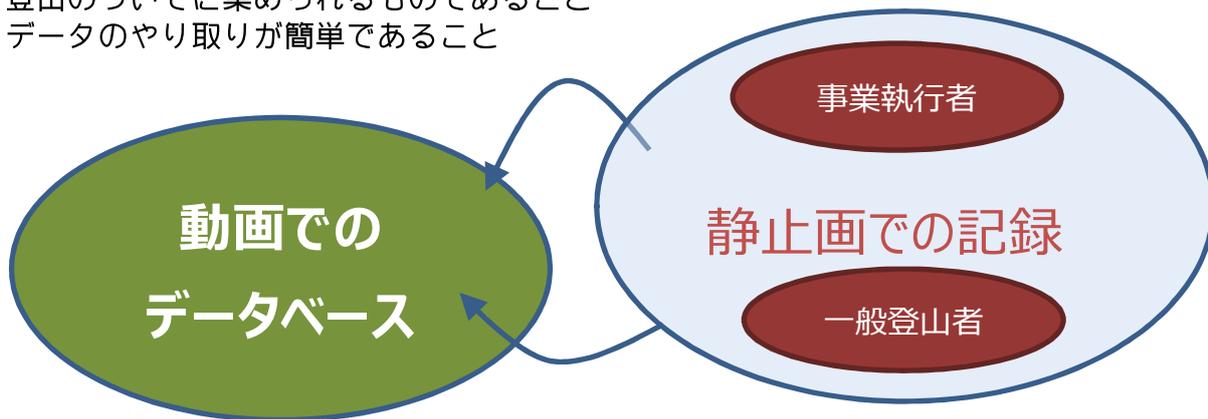
データベース構成の考え方

データベースは登山道及びその周辺のすべての状況がわかる動画をベースとするが、登山者、登山道管理者、山岳関係者などが気付いた時に随時収集できる情報も重要である。随時収集される情報は写真（静止画）となる。

つまり、データベースは動画記録が基礎としてあり、登山者等から収集した静止画（二次的情報）を動画と照合することで、登山道の変化等を把握して維持管理に役立てていくという考え方が必要である。

基礎に動画記録があり、登山者などからの静止画記録（二次的情報）を照合していくという発想が必要

- ・技術を必要とせず、誰でも収集することが出来ること
- ・登山のついでに集められるものであること
- ・データのやり取りが簡単であること



協働（アクションカメラによる）

< 動画記録の特徴 >

- ・アクションカメラを身につけて歩くだけで簡単に記録が可能
- ・登山道を歩く視野で、すべて記録できる
- ・周囲の状況もある程度わかる
- ・動画から静止画へ変換できる
- ・GPSデータも同時に取得できる
- ・機材価格は4~6万円ほど（静止画像用のカメラとGPSのセットと同程度）
- ・紙媒体にするときには選別が必要

山レポ

< 適時収集の写真画像 >

- ・カメラでの記録
- ・構造物や侵食箇所などの要所
- ・崩れの大きくない場所や崩れの周辺などは記録されない
- ・紙媒体にした時の記録が膨大になる
- ・数枚づつならばデータの移動は簡単

③ 動画及び動画の静止画像への変換

動画は、撮影したデータを図5-3-4のようなイメージでYouTubeにアップロードする。動画の時間を位置情報として管理する。

一般登山者から写真（静止画）の情報もたらされる場合、GPSログを添付してくれる場合は少ないと考えられるが、写真（静止画）に該当する場所の動画名と動画上のタイムログを記入してもらえばGPS情報の代わりにすることができ、それにより場所に関する情報共有が可能となる。

また、動画は紙媒体にすることも可能であり（詳細は5-3-2参照）その際GPSログだけでなく、タイムログを記載することによって場所の情報共有も可能である。

皆さんへのお願い

- ・山レポへの情報提供
- ・動画の収集

・GPSログが表記され、
おおよその位置が確認できる

<時間表記>
 ・動画の時間表記でも位置情報を管理
 ・動画名と表記時刻を記入してもらえばGPS情報の代わりに使える
 ・紙媒体にするときや一般収集情報ではタイムログまたはGPSログでの情報共有も可能
 ・一般からの収集情報ではGPSログを添付してくれる場合は少ない

<表題>
 ・この名称を「①黒岳ロープウェイ～黒岳7合目登山口・往路○年○月○日」等にする事で
 場所と記録した日を管理

- ・静止画像は山レポで収集し、公開。同時にグーグルマップ（ちょっとマップ）上でも公開し、動画は張り付けたリンクから閲覧可能にする。
- ・カメラを持って歩くだけで情報が収集できるので、3～5年毎に更新する（過去情報は保存する）。
- ・官・民・学共有のベース情報として扱い、管理計画を作ることが可能になる。